

羽衣学園中学校・高等学校 学校訪問報告

日 時 平成 26 年 10 月 7 日(火)

訪問者 加藤校長、矢嶋教諭、坪内教諭

対応者 馬場校長、米田教諭(文理特進Ⅱ類コース主任)

1 学校概要

- ・生徒数 1013 名 (男子 295 名、女子 718 名)
- ・2012 年度進学状況：大学 60.4% 短大 13.9% 専門学校 18.7% 就職 2.1% その他 4.9%
- ・1923 年羽衣女学校設立。創立 90 周年を迎え、2013 年に男女共学化。羽衣中学校、高等学校と羽衣国際大がある。
- ・高校は文理特進Ⅰ類コース、文理特進Ⅱ類コース、進学コースに分かれている。
- ・実践的英語力、社会で通用する I C T 力、各種資格取得の三つのキーワードで教育内容を進化させている。

2 羽衣学園高校の実践内容

(1) はじめに

- ・ I C T : Information and Communication Technology
⇒「情報」に加えて「コミュニケーション」性が具体的に表現されている所が特徴。
- ・ I C T 活用教育で使用する機器
⇒ソフトウェア・・・デジタル教科書など
⇒ハードウェア・・・パソコン、プロジェクタ、書画カメラ、電子黒板、電子辞書など

(2) I C T の授業での活用

- ・2014 年度から新入生全員に電子辞書を購入させる。電子辞書はプロジェクタに接続可能。(カシオの電子辞書が、カシオ製プロジェクタに接続可能。)
- ・授業実践科目例
 - 【英語】 デジタル教科書、e-learning を活用
 - 【数学】 電子黒板を活用
 - 【理科】 動画、デジタル教材を活用
 - 【情報】 ビデオ会議や協同作業に活用
 - 【クラブ・課外活動】 運動部、交流学習などで活用
- ・国外・国内で交流学習

(3) ICT教育の4つの指導方法（指導段階）

①自分の手元のことを大きく見せる

例：地図、史料、模範解答などを大きく映し出す。

②すでにあるデジタル化されたものを見せる

例：市販のDVDや、ネット上のデジタル素材などをそのまま活用する。

③自分で作った教材を見せる

例：パワーポイント等を用いて、授業進行に沿って教材を配置しておく。

④ICT機器を使って協同学習をさせる

例：デジタル教科書・教材を使う。タブレットなどを使うとペアワークも可能。**板書が保存可能となるのがメリット。**

3 羽衣学園高校がICTを導入する際に留意した点

(1) 技術面

- ・通信環境の整備、情報機器の配備、教材・コンテンツの開発、校務システムの全校への導入
- ・機器の簡単なメンテナンス

(2) 教員の研修

- ・研修体制の強化、ICT支援員の導入

4 羽衣学園高校の実践事例

(1) 産学連携（キャリア教育）と高大連携

専門家、起業家の協力を得ながら実験や実習を中心とする体験型の授業を実施。

(2) 財団法人コンピュータ開発センターとの連携

産業界、地域社会と協力しながらCG・ケータイ・ロボットなどの授業を実施。

(3) IT関連企業や大学との連携

大阪大学、関西大学などとの連携。

5 羽衣学園高校からのメッセージ

- ICTには便利な機能がたくさんあるが、ICTによって生徒たちに身に付く力もあれば、失われる力もある。
- 物事には良い面と悪い面があり、その光と影をうまく伝えうまく活用できるように指導することが大切である。
- 生徒の活動を活発にするための補助として、ICTを活用して行ってほしい。